



未来塾という場を使って 自分は何をするのか ディスカッションⅡ

テクノ未来塾 合宿Day2(2023-05-21)

チーム「次世代とのコラボレーション」

(黒岩、中東、中山、宗像、松嶋)

目的

中東: 企画・ファシカを上げたい。講師(先ずは竹下さん)の話を知りたい。次世代のメンバーと活性したディスカッションを創るノウハウも充実させたい。

中山: シーズ・ニーズとリソースを繋げる役割を果たす
～技術・人脈・ネームバリューを活用して、新たなイノベ実現へ貢献

宗像: 未来塾の持っている「力」を活かして、次世代と課題(未来構築)に取り組みたい
次世代と議論することで多面的な思考力を高めたい

松嶋: ツールを確立したい。それを使って議論をしたい。有効な武器を先ず確立したい

黒岩: 異なる世代との継続的な交流を模索するのがよいのでは？未来塾の強みに合わせたポイントでの交流なのか、それとも対象世代の興味・ニーズを切り口にするのか？フォーラム的に未来塾企画への若い世代の招待？

チーム「次世代とのコラボレーション」

(黒岩、中東、中山、宗像、松嶋)

- ・すでに実施している大学、高校とのコラボ例を展開することで未来塾のメンバーが動きやすくなる
これまでのノウハウを共有する
- ・高校生と議論することで、伝える力もつく
大学生はすでに経験している人もいるので若干ハードルが高いと感じる
- ・一緒に活動している先生の活動をサポートすることで広げること出来る
- ・誰をターゲットにすると良いかは考えておくことと具体化しやすい: マーケティングと同じ
高校生: 経験? 社会人とのコラボでも十分
大学生: 何を伝えると良いのか? ※例: キャリアイメージは結構興味を持ってもらえる
大学生も所属学部や年齢によって変わる

まずは、やれることを実地でやってみよう!! **貢献したいという思いが必要**

中澤先生とのコラボが最初のステップと思う → **次世代コラボ検討チームを創ろう!**

カリキュラムとして組むことを目的に、どういうプログラムがいいかを相談することから始めるのはどうか?

- ・準備が大切 特に大学生(大学院生)への講義は、しっかりとした準備をして伝える努力をしないとまくいかない
- ・阿部先生: なにかやってみようという学生(大学院生)が相手になる
実際の社会課題へのアプローチ、社会実装などの話は魅力があるだろう 失敗談も大切

大学、講師候補、これまでの経験者に個別に話を聞いて具体的にどう構築するかを考える
この情報をもとにターゲットングをして、好ましいコースの仮説を行って、大学で検証を行う

→定期的に会話をするのが大切と思う 週1回 × 5ぐらい?

チーム「江戸を世界と未来へ」

(メンバー) 船渡さん、中谷さん、佐藤さん、吉川

<コンテンツの充足>

- ・竹下さん:『もし江戸イノベーターが現代の最先端技術を使えたら』を想像してまとめる「もしテク」プロジェクト。物語を作る。
江戸時代にタイムスリップして「もし女子高生が蘭学を勉強したら」
- ・本を熟読しないと。読書会。分野のトピックを選んで、コンテンツを作ってSNSなどに投稿 WEBに乗せる
→ テクノ未来塾のHPの英文化 海外からアクセス
- ・英語のキーワードをつける(タイトルとアブスト)
- ・皆でパワポを作って説明会→ コンテンツの蓄積
- ・帯があると印象が違う。中身を見ようと思う。

<外部との接点>

- ・東工大 助教授 大学院生に投げかけてワークショップする。(過去に海外展開のワークショップ 3か月準備)佐藤さんのコネクションリストを。
次世代をつなぐ。過去の技術を正しく伝える。これから使える種。我々の興味と満足で終わらせない。
- ・公共の図書館、学校の図書館 副読本 歴史の先生の蔵書のひとつに。自主学习で推薦してもらおう。中学、高校の社会科の先生にあげる。
- ・サイエンスアゴラ 実務の達人と対話する場がない OBOGで出展。対話の場を設ける。
- ・翻訳する 機械翻訳のネイティブチェック(80の方) 外国の知り合いにも展開してもらおう

<拡張性>

- ・取り上げる人物を増やす(東北が少ない?) 地方にいないか
- ・地元ゆかりの有名人 そこに行かないと分からない アップデートされてない? WEBで終わってしまう?
- ・時代はあまり広げない方が良さか

対話と共創 公募6E(過去のアーカイブも視聴できる)



<販促>

- ・もし江戸?
- ・大阪万博の関連イベント
- ・大阪起業者ミュージアムへ売り込み

<今後>

- ・定例会議

チーム「社会課題→発想を転換する」(中村・中條屋・望月・中瀬)

- 社会課題を議論する・見つける・対話をする場をつくる
- フォーラムや未来塾の部屋などの場を使って、社会課題や問題意識について議論を深める
- シンジリツのように
- **まずはフィールドワークをやってみる。「葉っぱビジネス」とかまず行ってみる。話聞くだけで無く体験する。**
- 実際にやっている人の話を聞く。未来塾の部屋などで話を聞く
- どういうジャンル？ →技術に関連した社会課題？ TMJッぽい。→解決だな
- 技術者は「不便」を解決してきたが、「不便」がなくなってきた。→敢えて「不便」にする。 でこぼこにする「幼稚園・保育園」 便利が良い事だ「ではないかも」 アイデア性の有るものが出せるといいな。 どんな不便を創れば面白い事ができるのか、でも意思が必要
- どういうキッカケで、それをやろうと思ったのか
- 未来塾でやってみるなら・・・レベル感？
- コトづくり
- クリエイティビティーが必要なので**(川島さんの発想？ 自分のせいではないので、なんでもできる？ 川島さんを憑依してみる**
- 自分で価値観を創る
- 技術の組み合わせを
- 独特の 跳んだ発想をトレーニングする テューリーズ、
- フォーラムの後に自由に発想して、ポストイットを貼るとか、バカな事を言って良いような、自由に何でも言う場 リアルの場が良い
- 昔は、飲み会だけ参加する人がいた。 お悩み相談会。 世代を超えてリアルに集まれる場 若い人に(繋がる)教えてもらう。
- フォーラムの企画で 30代の面白い人を複数呼んで、パネルやるとか リアルで、懇親会(ノンアルでも良いけど)もやる 最近会社を辞めた人に 櫻井さん、最近会社を辞めた
- アンテナを立てる
- 人口↑×生活レベル↑→資源・エネルギー↓
- 物質文明→精神文明？ 豊さの定義の転換、モノはそれぞれ
- 若手、次世代が自由な発想で、希望を持って 日本:若い人で元気が無い人が多い
- シニア層が100年時代を生きていくスキル・マインドを身につける→テスト的にやってみる場を作ってみたい リタイアしてからでなく、全員サラリーマン的ではないだろう
- 定年延長はシニアに活躍しておらず和ないと行けなくなっている
- 働かないおじさんの著者、時代背景が違うので、個人を責めても解決しない。
- 働かないおじさんを活用するプログラム 50代はもうダメ、40代が危ない
- **発想の違う30代の面白い人を複数呼ぶフォーラムを企画してみる**

チーム「阿部先生のコメント」



阿部先生のコメント・提案

3つのチームからの提案は、各チームでもう少し議論を深めて欲しい

また、他の塾生が参加できるようにしてはどうか

今のテーマ3つを次のフォーラムに繋がるように未来塾の活動全体を一度、俯瞰して欲しい

小さな成功体験を作る

ステップバイステップ・試行錯誤しながら、成功事例を作る

その過程で課題を抽出し、次につなげる

未来塾だけで完結するのではなく、他の組織とのコラボ・活用を検討して欲しい

SMILES on DAY2 / 2023.5.21 @奥多摩 & Online



